

009

From Editor

011

表紙の時計 / レペー1839 タイムファストD8

012

Editor's Choice!

ジャケ・ドロー グラン・セコンド スケルトン

ブルガリ オクトローマ トウルビヨン サファイア

014

世界は時計で回っている。

016

H.モーザー ストリームライナー フライバック クロノグラフ オートマティック

ラグジュアリー! スポーツ・ウォッチという新分野に挑む

018

ルイ・ヴィトン タンブルール カーブ フライング トウルビヨン ポワソン・ド・ジュネーブ & タンブルール スピン・タイム エア

未来を見据えたジュネーブ・シール取得モデル

021

IWC 2020

多角的に充実を図ったポルトギーゼコレクション

IWCは毎年、ひとつのコレクションに焦点を当てて新作を発表している。

そして今年のテーマはポルトギーゼ。すべてのモデルに自社製ムーブメントを搭載し、ケース・サイズや

文字盤カラーにも新しい試みが行われた。ヨットクラブにはプレスレット・モデルも登場し、充実が図られた。

031

ブライトリング 2020

過去を紐解き、新たな命を吹き込んだ新作

「陸・海・空」の3つをテーマに製品を展開するブライトリングだが、それぞれから新コレクションがお目見えした。

「陸」ではクロノマットを全面的にリニューアルし、交換可能なライダータブやルロー・プレスレットが復活。

またスーパーオーシャン ヘリテージには1957年モデルが復刻され、ナビタイムには女性のためのシリーズが誕生した。

039

ウォッチズ&ワンダーズ 2020

減速の防波堤となることを期待された新作たち

名称をS-HHからウォッチズ&ワンダーズに改め、新しい展開を予定していたジュネーブでの新作発表会も中止され、

オンラインプラットフォームでの新作発表となった。ここでは15ブランドの新作の概要をご紹介します。スイス時計の世界も

新型コロナウイルスの影響で先行きは明るくないが、減速を少しでも食い止めたい、という各社の思いが込められた新作たちだ。

2020年ブランド別新作情報

064

テイソ[®]ジェントルマンオートマティック[®]

良心的な価格が魅力のオーソドックスなメンズ・ウォッチ

066

オリエント[®]キングダイバー復刻モデル[®]

1960年代のオリジナルの雰囲気を感じ、現代に伝える復刻モデル

068

シュトゥルマンスキー[®]ストレラ[®]

ロシアで見られた1950年代のアラーム・ムーブメント

072

タグ・ホイヤー[®]コネクテッド[®]

スマートウォッチに機械式時計の魅力を求めたタグ・ホイヤー

074

ブライトリング[®]トップタイムリミテッドエディション[®]

1960年代のモダン・ウォッチのスタイルが甦る

075

ブライトリング[®]AVI REEF 765 1953 リ・エディション[®]

パイロット・クロノグラフの歴史を物語る[®]コ・パイロット[®]が復刻

076

H.モーター[®]3つの限定エディションの[®]コンセプト[®]

鮮やかさを背景に立ち上がる白煙がブランドを語る

077

H.モーター[®]ベンタブラックエディション[®]

オンラインで購入可能な3つの[®]ステルス・モデル[®]

078

カシオ2020新作[®]オシアナス×ブリーフィングコラボレーション・モデル[®] & マスター・オブ・G フロッグマン[®]

スマートフォンの機能を加え機能も充実したふたつの新作

079

新製品情報

086

ロレックスメンソー&プロトジェアート・イニシアチヴ

2018-2019年度の参加者たちが集大成を発表

088

WCがグローバルパートナーを務めるローレウスの創設20周年

ベルリンで開催された[®]スポーツ界のオスカー[®]授賞式

089

ショパール[®]アルパインイーグル[®]発表会

古来から受け継がれる自然と日本文化のなかで新作をお披露目

090-096

インフォメーション／問い合わせリスト／次号予告

IWC 2020

多角的に充実を図った“ポルトギーゼ” コレクション

毎年、IWCはひとつのコレクションにフォーカスして新作を発表しているが、今年のテーマは“ポルトギーゼ”。ムーブメントはすべて自社製に切り替えられた。3月半ばにサンプルが日本に到着し、幸いにもそれらを拝見する機会を得た。ポルトギーゼのデザインを踏襲しながら直径40mmのコンパクトなサイズで登場したオートマティックや、直径42mmのパーペチュアル・カレンダーなど、バリエーションは堅実な広がりを見せた。また2018年の150周年記念モデルのために開発されたムーブメントの活用も注目された。



ブライトリング 2020

過去を紐解き、新たな命を吹き込んだ新作

ブライトリングは3月末に東京で予定していた新作ロードショーを中止したものの、4月初めに一部のメディアに向けて新作のプレゼンテーションを行った。今年の新作は3つの柱に分けられる。まず日本で人気が高いクロノマットの全面的なリニューアルに踏み切った。ナビタイマーでは初の女性に向けた直径35mmのモデルが登場。さらにカプセル・コレクションとして1950年代のオリジナル・モデルに着想を得たスーパーオーシャンヘリテージ'57が発表された。いずれも自社の歴史への尊重が窺える。



Text/Tomoko Kayama(WPP)

Photo/Courtesy of Breitling

ウォッチズ&ワンダーズ 2020

減速の防波堤となることを期待して発表された新作たち



SIHHは名称をウォッチズ&ワンダーズと改め、4月25日から同29日までジュネーブで開催が予定されていた。販売店やプレスだけでなく、一般の人にも時計に親しんでもらおうという趣旨で新たな形態が企画されたが、新型コロナウイルスの影響で中止の決定が下された。そこでオンライン・プラットフォームで各ブランドが新作の情報を提供する、という方法に切り替えられた。ところで来年はパテック・フィリップ、ロレックス、チューダー、LVHMのウォッチ・メゾン、ショパール、シャネルがバーゼルワールドを離脱し、W&Wに合わせてジュネーブで新作を発表すると表明。新型コロナウイルスによる経済的な打撃も明らかで、スイスの時計業界は大きな変化の渦の中にある。

2020年ブランド別新作情報

スウォッチグループの6ブランドによるタイム・トゥ・ムーヴもバーゼルワールドも開催が中止され、時計ブランドは新作発表の場を失ってしまった。またスイスもロックダウンが施行され、部品から完成品まで製造現場の多くが活動を休止せざるを得ない状況に追い込まれた。しかし立ち止まっているわけにはいかない。ここでは5月下旬までに各社から情報が届いた新製品の概要を簡単に紹介したい。

AUDEMARS PIGUET ●オーデマ ピゲ

©オーデマ ピゲ ジャパン ☎03-6830-0000

過去のモデルが醸し出す味わいを感じる新鮮さ

過去のモデルを現代の視点から再解釈する“リマスターリングプロジェクト”の新作。リマスターとはレコードの原盤をデジタル技法などを使い作り直すことを意味し、1943年製クロノグラフが原盤となった。



リマスター-01 オーデマ ピゲ クロノグラフ

1943年に製作されたクロノグラフの“1533”のデザインをベースに、ラウンドのケースとティアドロップ型のラグをSS、ベゼルとリュウズ、プッシュボタンを18KPGで再現した。インデックスのフォントもオリジナルに倣っている。ケースは現代的な直径40mmで、風防と裏蓋にはサファイアクリスタルが使われる。ムーブメントは昨年の“CODE 11.59 バイ オーデマ ピゲ”に搭載された自動巻きのCal.4401をベースとするCal.4409 (40石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約70時間)を採用する。価格610万5000円。500個のプティック限定。

BALL ●ボール

©ボール ウォッチ・ジャパン ☎03-3221-7807

高い視認性と使い勝手の良さ、そして強靭さを備えた実力派のスポーツ・ウォッチ

日本市場に初上陸する“ロードマスター”シリーズの第一弾。自発光マイクロガスライトや5000Gsの耐衝撃性、200m防水というボール・ウォッチの特徴を備えた強靭かつ実用的なモデルである。



ロードマスター マリンGMT

日本では未展開だった“ロードマスター”シリーズが上陸し、GMTモデルが発売される。24時間針が第2時間帯を示すが、プッシュボタンで1時間単位の調整が可能で、10時のボタンで進行し、8時で後退する。また昼夜を色分けしたセラミックス製リングを備える、逆方向回転防止ベゼルで第3時間帯の時刻を表示できる。直径40mm×厚さ14mmのSSケースにCOSC認定クロノメーターの自動巻きのBALL Cal.RR1203-C (25石、毎時2万8800振動、パワーリザーブ約38時間)を搭載。予価31万9000円。8月発売予定。

ティソ ジェントルマン・オートマティック

良心的な価格が魅力のオーソドックスなメンズウォッチ

今年1月にティソは「ジェントルマン・オートマティック」の販売を開始した。文字盤もブレスレットもそのデザインは正統派であり、ムーブメントはパワーリザーブ約80時間の自動巻きを搭載する。そのうえリーズナブルな価格がその魅力をより一層高めている。



太めのベゼルにアブライド・バー・インデックスとドーフィン・ハンドを組み合わせたジェントルマン・オートマティック。写真はブルー・ダイアルに3連ブレスレットを装備したモデルで、価格は10万4500円。ストラップ仕様は9万6800円となる。

なにも時計に限ったことではないが、メーカーが満を持して市場に送り出す主力モデルに加えて、時としてそのメーカー自身にも大いに勢いが感じられることがある。いわゆる「乗っている」状態のことだ。フランスの自動車メーカー、アルピーヌとのコラボレーション・ウォッチを発表して以来、ここ数年のティソにはこの種の「威勢の良さ」を感じ取ることができる。それもそのはず。わが国での販売数こそやや遅れをとってはいるものの、実は世界的に見てティソはロレックス、オメガ、カルティエと続く年間売り上げランキングでは、ベスト7の好位置につける実績のある優秀なメーカーなのである。

今回デビューした「ジェントルマン・オートマティック」も、結論から言うともたしかり。アブライド・バー・インデックスとドーフィン・ハンドを組み合わせたオーセンティックな文字盤のデザインに加え、基本中の基本とも言えるオーソドックスな3連ブレスレットを装備した骨太の意匠は、安定感に溢れたものだ。しかし、本機の強みは、それだけではない。心臓部には80時間のロング・パワーリザーブを誇る同社のフラッグシップ・ムーブメント、パワーマティック80シリシウム®を搭載しながら、ストラップ仕様では10万円を切るリーズナブルな価格を達成。むろん、これは大きな魅力と言うほかはないだろう。

コレクションの中のお勧めは、文句なく今が旬であるブルーのダイアルにブレスレットを組み合わせた写真のモデルだが、このほかにブラックとシルバーの両文字盤が用意される。

シースルー・バックと10気圧防水機能を備えたケースは直径40mmで、シリシウム・コントローラーを備えた自動巻きムーブメントは25石、2万1600振動、約80時間のパワーリザーブ量をもつ。

KESAHARU IMAI
Publisher

TOMOKO KAYAMA
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA
Production Director

HIROSHI SASAGAWA
Circulation Manager

DTP
BASE

Correspondent
Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)
Mikako Burks

Cover Photo/
Courtesy of L'Epée 1839

●本誌に掲載されている価格は
令和2年6月10日現在の調べによるものです。
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示
です。
© WORLD RHOTO PRESS 2020

【特集】続・2020年新作情報

新型コロナウイルスの感染拡大により新作発表会の開催が中止となり、各社はそれぞれ異なるタイミングで新作の情報を配信しています。また8月26日から同29日の4日間にはジュネーブで「ジュネーブ・ウォッチ・デイズ2020」が開催予定です。ブルガリ、ブライトリング、ジェラルド・ジェンタ、ジラルール・ペルゴ、H・モーザー、ユリス・ナルダンなどが参加し、ジュネーブ市内のホテルで新作を発表します。次号では6月以降に情報が送られてきました新作および「ジュネーブ・ウォッチ・デイズ2020」でお披露目される新作の概要をご紹介します。

新作レポート

すでに日本市場で発売を開始した2020年の新作のなかから興味深いモデルを選び、詳細をレポートします。

「世界の腕時計」第145号は2020年9月下旬発売予定です。

世界の腕時計 定期購読のご案内

毎号、送料無料でお届けします！

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方
便利な定期購読を是非ご利用ください。
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

【年間購読料】

1年間(年4冊) **6,704円(税込)**
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



【お申し込み方法】

- フリーダイヤル 富士山 富士山
- お電話で(年中無休24時間受付) **0120-223-223**
 - インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoudedokei>
 - 携帯電話から <http://223223.jp/m/sekainoudedokei>
 - QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

【お問い合わせ】

富士山マガジンスerviceカスタマーセンター
パソコンサイト: <http://fujisan.co.jp/cs>
メールの場合: cs@fujisan.co.jp
に、お問い合わせください。

■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンスerviceとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承ください。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承ください。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス ホームページ <http://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K
ワールド・ムック1226

世界の腕時計

No.144

令和2年7月30日発行

発行人……………今井今朝春
編集人……………香山知子
発行所……………株式会社ワールドフォトプレス
〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2
編集部……………☎03-5385-5667 FAX.03-5385-5617
広告営業部…☎03-5385-1350 FAX.03-5385-1348
販売部……………☎03-5385-5701 FAX.03-5385-5703
印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。